

# FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース  
2023年2月18日

ファンティックモトクロスチーム、ベネト州を拠点とする企業との  
団結も新たに、さらなる強固な関係性のもとに、2023年、新生ファ  
ンティックMXレーシングチームがその姿を現した！



ファンティックモーター・オフィシャルモトクロスチームにとって今シーズン初となる  
MX2 世界選手権において、EMX125 のタイトル保持をかけた熱き戦いはその火ぶた  
を切る。新しく迎え入れたライダーは4人だ。マルコと、コルラド=マッディに引き入  
られたこのチームは、今年で結成4年目を迎える。

## 2023年2月16日、サンタ・マリア・ディ・サーラ

ファンティックモーターは幾多の新形態を交えながら、MX2 クラスを封切に新たなる挑戦のシーズンを迎えようとしている。しかし、ファンティックレーシング MX チームの哲学が変わることはない。その根底に流れているのは、ヨーロッパでの 125 と 250 クラスにおいて、若いライダー達の育成を目的とすることに他ならない。

4年目の今年も、チームマネジメントは、これまでもチームを率いてきたマルコとコルラド=マッディに託される。

モトクロス界の名門2チームのコラボレーションにより誕生した、若くて意欲的なチームは、その価値を示すべく 2023 年の開幕戦を今か今かと待ちわびている。

## 彼らが、ファンティックレーシング MX チームライダー達だ！

トム=グウィオン  
MX2/Fantic XXF 250 #27 ↓



ハーコン=オスタハーゲン  
MX2/EMX250  
Fantic XXF 250 #312 ↓



カス=ヴァルク  
EMX250  
Fantic XX 250 #172 ↓



アレクシス=フェリ  
EMX250  
Fantic XX 250 #717 ↓



マクシミリアン=ワーナー

EMX125

Fantic XX 125 #494 ↓



エライアス=エスカンダル

EMX125

Fantic XX 125 #6 ↓



リン=ヴァルク

WMX

Fantic XX 250 #172 →



世界選手権で素晴らしいデビュー戦を飾ったあと、トム=グイオンはファンティックレーシングチームの旗手として招集された。彼は彼の4ストロークXXF250に乗って、ベネトに拠点を置くこのメーカーをMX2世界選手権に参戦させるまでにしたのだ。

125クラスからは、カス=ヴァルクとアレクシス=フエリの両者が、ヨーロッパEMX250に進んだ。昨年は、スペイン人レーサーが熾烈を極めるレースで、表彰台まであと7ポイントと惜しい結果を迎える中、ドイツ人レーサーがEMX125のヨーロッパ選手権と、新人戦、さらには“Internazionali d'Italia”（イタリアの国際レース）においてタイトルを獲得した。

ハーコン=オスタハーゲンもまた、250クラスのラインアップを総なめになると予想されている。EMX 2Tのヨーロッパ第2位の実力を持つノルウェー人ライダーは、12月に怪我を負っているが春には競技場に戻ってくるはずだ。彼もまた、MX2世界選手権のいくつかのレースへの出場が予定されている。

2人の新しいファンティックライダー、エライアス=エスカンダルと、マクシミリアン=ワーナーは EMX125 のタイトルを保持するつもりでいる。ファンティックは、現在のファンティックのこの威信の継続を、若き二人のライダーにかけている。

カスの姉妹、リン=ヴァルクもまた、マッディファミリーの輪に加わり、ファンティックレーシング MX チームはこれでほぼ完成といったところか。彼女は順当にポイントを稼ぎ、2022年のWMXの世界第二位となった。今年度は表彰台のトップを狙っている。

ファンティックは常に、若きライダー達の将来の成長を見据えている。チームは、トスカーナから来た、14歳のライダー、ニコロ=マンニニを迎える予定だ。彼は、XX125を操り、新人戦においてファンティックカラーの不動の地位を示してくれるだろう。

アルゼンチン GP、MX2 世界選手権の第一ラウンドが3月の11、12日に迫っている。ファンティックレーシング MX チームも、すでにこの公式レースのための手駒は配置済みだ。

チームのヤングライダー達は、ポンテ・ア・エゴラで2月12日（日）に行われた“Internazionali d’ Italia” でその軌跡を残している。エスカンダルは、8ヶ月に及ぶ長い怪我の療養から復帰し、素晴らしいパフォーマンスを見せて125クラスで総合2位



につけた。MX2では、数多くの世界選手権の主人公となるライダー達が出場したが、その中においても、グワイオン、ヴァルク、そしてフェリが、2ヒートを危なげなくこなしてその個性を見せてつけてくれた。

**トム=グワイオン**：「公式にファンティックレーシング MX チームの一員として走れるのがとても嬉しいよ。MX2 世界選手権のライダーに選ばれているということがとても誇りだし、その信頼を是非とも取り戻したいね。」

**ハーコン=オスタハーゲン**：「僕のファンティック XXF250 にできるだけ早く戻りたいよ。仲間がレースしているのを見ているだけなのは辛いね。でも、怪我が僕のレースへの思いを止めることはできないよ。むしろ、日に日にその思いは強くなるばかりさ。」

**カス=ヴァルク**：「125 から 250 への移行に、すごくワクワクしているんだ。僕を信頼してくれているファンティックに感謝だよ。去年はいい結果が出せた。XX250 という新しいマシンで新しいクラスだから、また良い結果を出すためにも、冗談じゃなく、本気で挑戦するよ。」

**アレクシス=フェリ**：「去年のパフォーマンスは良かったと思う。また魅力的な季節がやってくるね。冬季の練習は新しいマシンに慣れるのにはとても有益だった。おかげで今は、とてもいい感じなんだ。」

**マクシミリアン=ワナー**：「ファンティックとマルコが僕に与えたかった信頼を、僕が受け取るに値するということを証明して見せたいんだ。冬季の練習中、XX125 を自分のものにしていきながら、僕に合ったセットアップを探っていたんだ。シーズン開幕の初戦は目の前さ。125 ヨーロッパ選手権の前には完ぺきに整えておきたいね。」

**エライアス=エスカンダル**：「レースのないこのシーズン中はやっぱり辛いね。でも、冬季の練習はよくやったよ。ファンティック XX125 はもうすでに僕のマシンになっているし、僕らの日々の仕事にはとても満足しているんだ。僕は、ファンティックチームの正式なメンバーであることに誇りを持っているし、EMX125 のタイトルも保持して見せるよ。レース場に戻れるのが、もう待ち遠しいんだ！」

リン=ヴァルク：「ファンティックが私に与えてくれたチャンスにととても感謝しているの。このチームの一員になれたことも嬉しいし、兄弟のカスと一緒に入れたことも素晴らしいわ。オフシーズンの間は、新しい相棒 XXF250 とはだいぶ仲良くなれたの。去年は、あと8ポイントというところで、世界選手権を逃してしまったから、今年は絶対リベンジしたいの。」

マルコ=マッディ、ファンティックレーシング MX チームマネージャー：「長いオートバイの歴史の中で、こんなに権威あるブランドと一緒に仕事ができるなんて、僕はとても嬉しいよ。チームがまだ若いころから、こつこつと業績を残しながら成長してきたし、ライダー達が彼らの才能を示しながら意欲的に挑戦してくれるのが、僕に計り知れない元気をくれるんだ。2023年のレースシーズンの開幕が待ちきれないよ。」

